

第14章 日常のセルフケア 2 問題

〈シックデイ〉

- ・糖尿病患者が治療経過中に、別の疾患に罹患して（ Q1 ）や（ Q2 ）、（ Q3 ）が出現することによって血糖コントロールが著しく困難に陥った状態をシックデイという。
- ・インスリン依存状態の患者では（ Q4 ）に陥りやすく、注意が必要である。
- ・インスリン治療中の患者の場合、食事がとれない場合でもインスリンは（ Q5 ）せずに、いつもより（ Q6 ）に血糖測定をする。

〈フットケア〉

- ・糖尿病では、（ Q7 ）、（ Q8 ）、易感染症が重複して存在することが多く、足部の組織障害を生じやすい。（ Q7 ）があると足病変を早期に自覚することができないため、悪化しやすい。
- ・フットケアを指導するにあたり、（ Q9 ）コントロールを良好に保つことを大原則として足病変の発生に重要なことは（ Q10 ）を主としたフットケア指導である。
- ・患者や家族への教育として毎日の足の（ Q11 ）と（ Q12 ）が大切である。
- ・靴下は、通気性のよい綿素材を選び、色は創傷に早期に気づくので（ Q13 ）の靴下を勧める
- ・靴を購入の際は 朝方ではなく、足が浮腫み、大きくなる（ Q14 ）を選ぶ。
- ・旅行の際は（ Q15 ）を起こすことがあるため新しい靴で出かけることは禁物。

〈歯のケア〉

- ・高血糖状態では（ Q16 ）が低下するため口腔内細菌の増殖が促進され（ Q17 ）が拡大される。

〈旅行〉

- ・インスリン注射一式は余分に2つのバックに分散して携帯する。飛行機に乗る際、インスリンは（ Q18 ）として持参する。

〈慢性合併症を有する患者指導〉

- ・眼合併症に関する指導として定期的に眼底検査を受けることが大切であり、眼科受診の間隔として、「網膜症なし」では（ Q19 ）、「単純網膜症」では（ Q20 ）、「前増殖網膜症」では（ Q21 ）、「増殖網膜症」では（ Q22 ）おきには眼科を受診することが大切である。